ＪＲ総連通信

２０２１年3月２５日　№１４３６

全日本鉄道労働組合総連合会（ＪＲ総連）　http://www.jr-souren.com

立憲民主党・東日本大震災復興本部事務局の議員へ「東日本大震災の現地踏査」について報告をおこなう!!

衆議院議員　金子恵美氏

衆議院議員　岡本あき子氏

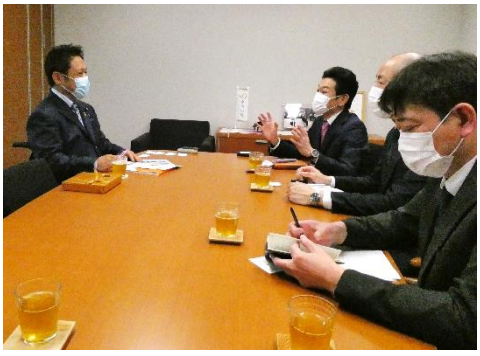
参議院議員　横沢高徳氏

ＪＲ総連とＪＲ東労組は３月24日、立憲民主党・東日本大震災復興本部事務局長の衆議院議員・金子恵美氏、同事務局長代理の衆議院議員・岡本あき子氏、同事務局次長の参議院議員・横沢高徳氏(いずれもＪＲ総連推薦議員懇談会所属)と、東日本大震災から１０年を前に実施した現地踏査について意見交換をおこないました。

同党東日本大震災復興本部も昨年 12 月 14 日～15 日の日程で被災地を訪れており、今回の報告はそうした経緯から、労働組合の視点からも被災地の現状及び復興・再生に向けた取り組みの現状を把握し、現地における要望・課題を届けたいとして実現したものです。

私たちからは、東松島市社会福祉協議会との意見交換の内容や、仙石線・仙石東北ラインが全線開通したが復興住宅として整備された地区にある石巻あゆみ駅、東矢本駅は通過駅のため住民から不満の声が出ていること、常磐線・浜吉田～相馬間は、津波により線区が被災し、内陸に移設して復旧したが高架にしたために強風による風規制で度々運休している実態などについて報告しました。

また、福島第一原子力発電所事故の問題は全く解決しておらず、ALPS 処理水、除去土壌の処分等、多くの課題を残していることについても議論しました。



一方、エネルギー政策については、2020 年 12 月に政府が発表した「2050 年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」では、原子力発電について「可能な限り依存度を低減しつつも、安全向上を図り、引き続き最大限活用」という未来図を描いていることについて、原発事故の教訓を活かし、再生可能エネルギーへの転換にむけて、今後も連携を図っていくことを確認しました。